

## 小さな舞鶴大使が大活躍 城北中 校外学習 in 京都

**5/27** 城北中2年生の皆さんが、舞鶴の歴史や文化を調べ、平和学習をしたことを生かして、舞鶴をPRするリーフレットを作成。5月27日に京都市内にある平安神宮や二条城などの観光地で、生徒の皆さん自らが観光客や通行人にリーフレットを配布しながら舞鶴の良さを説明しました。学習を振り返って「最初は声をかけるのにドキドキしたけど、皆さん優しく、私たちの話をよく聞いてくれて良かった」と笑顔で話してくれました。



手作りのリーフレットを使ってPR



通行人も熱心に耳を傾ける



手作りのリーフレット



神社に奉納された赤いほり



大漁旗をなびかせて目指すは雄島



三地区から続々と集まる漁船



神社へ向かう

## 安全と豊漁を願って… 雄島参り

**6/1** 三浜・小橋・野原地区の伝統行事雄島参りが冠島で執り行われました。雄島とは、オオミズナギドリの生息地として知られる「冠島」の別名。祭礼は島内にある老人嶋神社で行います。普段は上陸が禁止されている雄島も、この日は特別に立ち入ることが許され、集まった約250人の関係者たちは、今年も漁業の安全操業と豊漁を祈願しました。



気合い十分でゲームがスタート



ごみの処理費用をみんなで計算



ごみ処理についての説明を受ける

## ごみの減量 買い物ゲームで学ぶ

**6/2** 明倫小学校で、ゲームを通じてごみ減量への理解を深める「買い物ゲーム」の授業が行われ、4年生36人が参加しました。同ゲームを考案した「沖繩リサイクル運動市民の会」(那覇市)の皆さんを講師に招き、まいづる環境市民会議が主催。児童たちは、教室内に設置された模擬店舗で架空の通貨を使ってカレーの食材を購入。包装用ラップやトレーなどには、食材費とは別にゴミ処理費用やリサイクル費用が表記されており、これらの社会的費用を考慮して買い物をすると環境への負担が少なくなり、ごみも減量できるということを実体験を通じて学びました。

## 舞鶴の豊かな自然を体感 自然観察会

**6/6** まいづる環境市民会議が主催する自然観察会が行われ、子どもや保護者など30人が参加しました。同会議が作製した自然観察ガイドブック「舞鶴の守りたい自然②舞鶴フィールドミュージアム」を使って夕潮台公園(北吸)内の植物や昆虫などを観察しました。あいにくの天気でしたが、環境省レッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されている「ヤマタカマイマイ」が発見されるなど、貴重な瞬間に立ち会うこともできました。



さて、どんな発見が待っているかな



ヤマタカマイマイを発見



4番がボールをとらえる



ペアと息を合わせてコートを縦横無尽



みんなでハイタッチ!

## 市内各所でイイ汗キラリ 市民スポーツ祭

**6/6,7** 第51回市民スポーツ祭を開催。野球、ソフトボール、テニス、バドミントン、ソフトバレー、卓球、ゲートボール、マイパックなど市内各所で熱戦が繰り広げられました。今年は2,299人(中学校の部1,313人、一般の部986人)が参加。参加者は、さまざまなスポーツを通じて親睦を深めました。



ミュージカルの一幕



横断歩道の渡り方、覚えたかな

## 「手を挙げて、右、左…」 演劇で交通ルールを学ぶ

**6/11** 親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マarmorワタル」舞鶴公演が総合文化会館で開催されました。JA京都にのくが毎年開催しているもので、市内の幼稚園・保育園から年長児757人が招待され、演劇を通じて道路の横断方法などを学びました。また、代表の子ども達が舞台上上がり、出演者と一緒に横断歩道の歩き方を体験。会場の子も「手を挙げて、右を見て、左を見て、もう一度右を見て…」と声を合わせて大きな声をホールいっぱいに響かせていました。



ステージの上でも堂々。よくできました